

実行プラン検討表「テーマ:環境・景観・防災・上下水」編 (進捗状況まとめ)

参考資料

方策1 豊かな水を活かしたまちづくりの推進

具体的な取り組み	内容	手法・スケジュール 年後までに	検討結果						まとめ	
			Aグループ		Bグループ		Cグループ		進捗状況	理由等
			進捗状況	理由等	進捗状況	理由等	進捗状況	理由等		
①水質の保全	河川の清掃活動の日を定め、定期的な河川の清掃を行うとともに、子どもたちの水環境に対する意識の啓発を行う。また、地域内の水環境を完全に整備することで、安全で安心な水質の管理を行う。 (合併市町村基本計画付議事項)	③-1. 定期的な河川の清掃活動  ③-2. 子どもたちの水環境に対する意識啓発(生き物調査を通じた河川の水質調査等)  ⑤-3. 公共上下水道の整備推進  ⑤-4. 合併処理浄化槽設置の推進	△	年1回各自治会で実施している。	—	農業用水は実施しているが、一般的河川は未着手。	△		△ 【実施中】	一部の自治会で実施しており、今後、全地域に拡大させていく必要がある。
			△	一部の地域で実施している。(ビオトープの活用を行う。)	△	地域により温度差はあるが実施している自治会がある。	△		△ 【実施中】	一部の自治会で実施しており、今後、全地域に拡大させていく必要がある。
			△	行政で整備している。	△		△		△ 【実施中】	行政で整備している。
			△	行政で推進している。	△		△		△ 【実施中】	行政で推進している。
②蛍マップの作成	蛍の生息地調査を基に蛍マップを作成するとともに、定期的な河川の清掃を行い、蛍が生息しやすい環境を維持する。	③-1. 蛍の生息地調査  ③-2. 蛍マップの作成  ⑤-3. 蛍マップに基づく河川の清掃  ⑤-4. 蛍マップを地域内に周知	△	一部で実施している。(地域全体で生息調査が必要。)	△	多面的機能支払交付金制度(農地・水・環境保全活動事業)を活用している地域で実施している。	△		△ 【実施中】	一部の地域で実施している。今後、全地域で生息地調査を行っていく必要がある。
			—	自然保護の観点から蛍マップの作成は必要ないと思う。	—		—	△ 【未着手】	— 【未着手】	蛍マップの作成はしていない。※一般市民等への配布用ではなく、資料(保存用)として作成する必要があるのではないかと。
			—		△	多面的機能支払交付金制度(農地・水・環境保全活動事業)を活用している地域で実施している。	△		△ 【実施中】	一部地域で実施している。今後、生息地全域で清掃を行う必要がある。
			—		—		△		— 【未着手】	蛍マップの作成はしていない。集客目的の周知は行わないほうが良いのでは。
③豊かな水の活用	小水力発電を検討し、豊かな水資源を活用したまちづくりに繋げる。	⑤-1. 小水力発電の可能性について検討  ⑩-2. 小水力発電の実施	—		—	技術的なノウハウ、財源、各所管法令など一部行政主導で行わないと難しい状況。	—		— 【未着手】	地域で取り組むには課題が多い。行政主導で検討すべき事業ではないか。
			—		—		—		— 【未着手】	

※進捗状況欄の記入 「○」完了、「△」実施中(実施に向けての検討を含む)、「—」未着手

実行プラン検討表「テーマ:環境・景観・防災・上下水」編 (進捗状況まとめ)

方策2 地域ぐるみの環境保全活動の推進

具体的な取組み	内容	手法・スケジュール	検討結果						まとめ	
			Aグループ		Bグループ		Cグループ		進捗状況	理由等
			進捗状況	理由等	進捗状況	理由等	進捗状況	理由等		
④ごみ「0」運動の促進	毎月、清掃の日を定め、地域全体で定期的な清掃を行うとともに、地元の小中学生にごみ「0」運動に関する啓発ポスターを依頼し、不法投棄があるような場所に設置することで、ごみ「0」の地域を定着させる。	③-1. 定期的な自宅周辺の清掃活動を実施  ③-2. 地域の清掃日を定め、地域全体で清掃活動を実施(月1回)  ③-3. 地元の小中学生に啓発ポスターを依頼し、不法投棄場所に設置	△	市内一斉清掃(年3回)実施。	△		△		△ 【実施中】	市内一斉清掃(年3回)実施。今後は、環境美化を図るため清掃活動の回数を増やしていく必要がある。
			△	年数回実施。	—	月1回は行われていない。	△		△ 【実施中】	上記のほか、地域全体で定期的に清掃活動を実施していく必要がある。
			△		△		△		△ 【実施中】	小学生を対象に啓発ポスターコンクールを実施。継続開催するとともに看板を作成、設置し「ごみ0」運動を定着させていく必要がある。
⑤花とみどりのまちづくり	ガーデニング講座やガーデニングコンテストの開催により、地域ぐるみで景観美化活動を推進する。	⑤-1. ガーデニング講座の開催  ⑤-2. ガーデニングコンテストの開催	—	1,2とも実施していないが、3年後までに実施可能。	—	景観美化活動は、農地・水・環境保全活動事業として実施している地域もある。	—	講座、コンテスト:詳細が不明なため未着手。	— 【未着手】	未着手
			—		—		—		— 【未着手】	未着手

※進捗状況欄の記入 「○」完了, 「△」実施中(実施に向けての検討を含む), 「—」未着手

実行プラン検討表「テーマ:環境・景観・防災・上下水」編 (進捗状況まとめ)

方策3 耕作放棄地や荒廃森林の有効活用の推進

具体的な取組み	内容	手法・スケジュール 年後までに	検討結果						まとめ	
			Aグループ		Bグループ		Cグループ		進捗状況	理由等
			進捗状況	理由等	進捗状況	理由等	進捗状況	理由等		
⑥耕作放棄地の再生	耕作放棄地で草花の作付けや農業体験学習を行い、耕作放棄地を有効に活用する。	③-1. 耕作放棄地の利用調査 (他事例等) ③-2. 耕作放棄地の活用方法と場所を選定 ⑤-3. 耕作放棄地に草花を作付け ⑤-4. 耕作放棄地を農業体験学習に利用	—	農業委員会で調査しているのではないか?	—	現状欄の1, 2が理由として考えられる。	—	耕作放棄地関係については、実施団体が不完全なため、未着手。	— 【未着手】	未着手
⑦荒廃森林の再生	地域ボランティアの活動協力を得て、荒廃した森林の間伐を推進し、森林全体を健康にしていくとともに、間伐材を有効に活用する。	⑤-1. 地域ボランティアの協力を得て、荒廃森林の間伐事業を推進 ⑤-2. 間伐材を有効に活用	—		—	現状欄の1, 2が理由として考えられる。	—	地域内ボランティアの確保ができない為、未着手。	— 【未着手】	地域ボランティアの確保ができていない。
			△	一部とちぎの元気な森づくり事業で利用している。	—		—		△ 【実施中】	だいだらぼうの会ではハイキングコースなどの案内板設置に活用。とちぎの元気な森づくり事業での活用。

※進捗状況欄の記入 「○」完了, 「△」実施中(実施に向けての検討を含む), 「—」未着手

実行プラン検討表「テーマ:環境・景観・防災・上下水」編 (進捗状況まとめ)

方策4 自然を活かした景観活用交流の充実

具体的な取り組み	内容	手法・スケジュール 年後までに	検討結果						まとめ	
			Aグループ		Bグループ		Cグループ		進捗状況	理由等
			進捗状況	理由等	進捗状況	理由等	進捗状況	理由等		
⑧地域資源の発見	地域資源育成保全を行うボランティアを募集し、地域に眠っている資源を発掘するとともに、発掘した地域資源と梵天の里歩こうマップを連結させ、地区外の人との交流を深める。	③-1. 地域資源育成保全ボランティアの募集 ③-2. 地域資源の発掘調査(梵天の里歩こうマップ等を活用) ⑤-3. 発掘した地域資源を小冊子にまとめ、各公共施設に設置 ⑤-4. 美しい景観地や名所旧跡等の維持管理を強化	△ △ △ △		△ △ △ △	だいだらぼうの会で実施している。 だいだらぼうの会で実施している。 だいだらぼうの会で実施している。 自治会単位で実施している。	△ ○ ○ △		△【実施中】 △【実施中】 △【実施中】 △【実施中】	1～3については、だいだらぼうの会が中心となり、ボランティアの募集や地域資源の発掘調査、マップ等を作成し公共施設への設置を行っている。 地域資源を保全していくためには、継続してボランティアの確保や地域資源の調査が必要である。また、随時、マップ等を改訂するとともに設置場所を増やし交流人口を増加させる必要がある。  継続して適正な維持管理に務め、保全していく必要がある。
⑨山田川サイクリングロードの整備	山田川サイクリングロードを整備し、サイクリングターミナルを設置するとともに、サイクリングロード沿いを花でいっぱいにする。	⑤-1. 山田川サイクリングロードの整備 ⑤-2. ロード沿に花を植栽 ⑩-3. サイクリングターミナルの設置	— — —	行政で整備予定。  (整備されれば実施可能。)	△ — —	行政に要望済み。  	— — —	現在未着手であるがサイクリングロードの整備については、市の方向性は決まっている。	—【未着手】 —【未着手】 —【未着手】	未着手ではあるが、市で整備を予定している。  未着手  未着手
⑩ハイキングコースの整備	羽黒山周辺のハイキングコースを整備し、羽黒山周遊コースと名所旧跡と連結させた地区内ハイキングコースを設定する。	⑤-1. 羽黒山周辺のハイキングコースを整備 ⑤-2. 名所旧跡等と連結させ、地区内ハイキングコースを設定	△ △		○ ○		△ △	だいだらぼうの会で実施中。	△【実施中】 △【実施中】	1, 2とも、だいだらぼうの会で実施しているが、継続して実施していく必要がある。
⑪西鬼怒川堤の整備	西鬼怒川堤に桜(黄桜など)を植林し、上河内の桜の名所に位置づけることで、地域内外の人との交流を推進する。	⑩-1. 西鬼怒川堤に桜(黄桜など)を植林し、桜の名所に設定	△	高間木地区に植栽。(10年後から3年後にスケジュールの変更。)	○		—	西鬼怒川堤への植林は、国土交通省で禁止しているため、未着手。	○【完了】	高間木地区に黄桜を植栽。新たに植栽することは、管理などの問題があり難しいため。

※進捗状況欄の記入 「○」完了, 「△」実施中(実施に向けての検討を含む), 「—」未着手

実行プラン検討表「テーマ:環境・景観・防災・上下水」編 (進捗状況まとめ)

方策5 災害に強い地域づくりの推進

具体的な取り組み	内容	手法・スケジュール 年後までに	検討結果						まとめ	
			Aグループ		Bグループ		Cグループ		進捗状況	理由等
			進捗状況	理由等	進捗状況	理由等	進捗状況	理由等		
⑫災害対策の強化	災害に関する地域調査を行い、地域に合った災害対策を検討するとともに、多くの住民参加による防災訓練を通じ、各自治会の連携を強化するなどして防災意識を高める。	③-1. 災害に関する地域調査 ③-2. 上河内版ハザードマップの作成 ③-3. 地域全体で防災訓練を実施 ③-4. 災害時緊急用具を適正保管	— — △ △	— — — —	△ △ ○ ○	— — 防災訓練は年1回実施中。 上河内中学校と上河内西小学校の一部避難場所に保有。	△ — △ △	— 上河内版ハザードマップの作成については、未着手であるが、必要性が大であり、早急に進めるべき。 — —	— 【未着手】 — 【未着手】 △ 【実施中】 △ 【実施中】	行政では調査を行っているが、地域としては未着手。 行政ではハザードマップの作成を行っているが、地域としては未着手。 3, 4については、地域で防災訓練を実施し、非常用具を防災倉庫等に保管しているが、継続して実施、適正な維持管理をしていく必要がある。
⑬井戸水マップの作成	地域にある井戸水調査(場所・水質)を行い、調査に基づく井戸水マップを作成することで、災害時の飲料水を確保する。	③-1. 地域にある井戸水調査(場所・水質) ③-2. 井戸水マップの作成 ⑤-3. つるべ井戸の設置	— — —	— — —	— — —	地域として調査、マップの作成等を行っていない。 — —	— — —	上記と同じ。 — —	— 【未着手】 — 【未着手】 — 【未着手】	未着手 未着手 未着手

※進捗状況欄の記入 「○」完了, 「△」実施中(実施に向けての検討を含む), 「—」未着手